

# コーススケジュール 2012

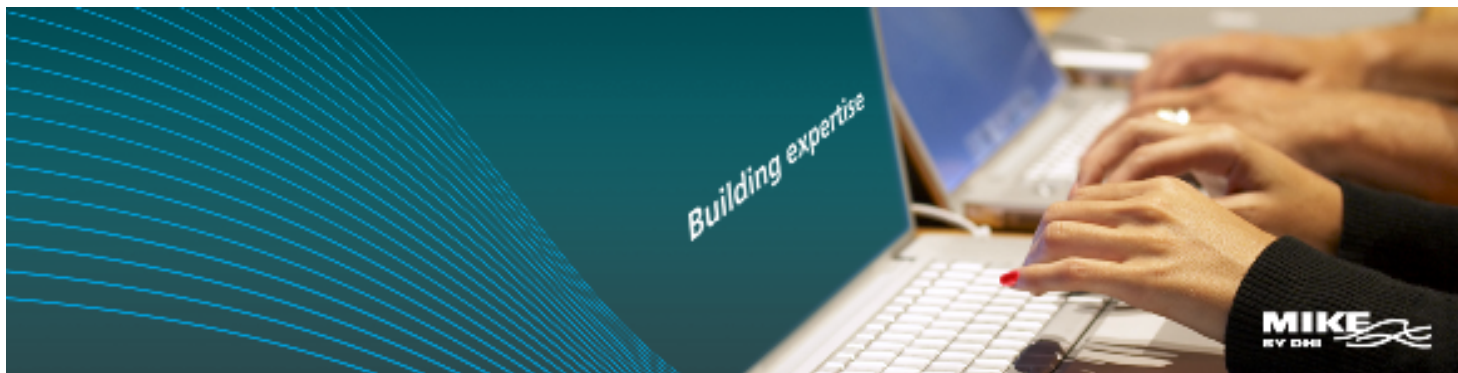
Japan



We help build your expertise

Cities  
Flooding  
Coast & sea  
Groundwater  
Water resources

**MIKE**  
BY DHI 



## コーススケジュール 2012

### Japan

	対象モデル	コース名	開催日
CITIES	MIKE URBAN CS	1次元下水道管渠水理モデル(MIKE URBAN CS : MOUSE)	リクエストの応じて随時
	MIKE URBAN WD	1次元上水道管渠水理モデル(MIKE URBAN WD)	リクエストに応じて随時
FLOODING	MIKE FLOOD (3-way)	1-2次元統合統合内外水氾濫モデル (MIKE FLOOD : MIKE URBAN +MIKE11+MIKE21)	6月29日 東京 7月7日 大阪 7月12日 福岡
	MIKE FLOOD (Urban)	1-2次元統合統合内外水氾濫モデル (下水道) (MIKE FLOOD : MIKE URBAN +MIKE21)	リクエストの応じて随時
	MIKE FLOOD (River)	1-2次元統合統合河川氾濫モデル (河川) (MIKE FLOOD : MIKE11+MIKE21)	リクエストの応じて随時
WATER RESOURCES	MIKE 11	1次元河川不定流モデル(MIKE11)	リクエストの応じて随時
	MIKE SHE	分布型統合水文モデル(MIKESHE) - 地下水水質計算も含む-	リクエストの応じて随時
GW	FEFLOW	2次元及び3次元の地中熱水分解析モデル(FEFLOW)	10月9日～10月12日 東京 (英語でのコースになります)
COAST & SEA	MIKE 21 HD	2次元次元流動モデル(MIKE21HD) - 津波計算も含む-	6月27日 東京 7月3日 大阪 7月10日 福岡
	MIKE 21 & MIKE 3 ECO Lab	2次元・3次元水質・生態系モデル(MIKE21/3 ECO Lab)	6月28日 東京 7月4日 大阪 7月11日 福岡

#### DHI ユーザーカンファレンス

第15回DHIユーザーカンファレンスを2012年4月18日に東京と2012年4月20日に大阪で開催予定です。

ユーザーカンファレンスでは、DHI本部から開発担当者が来日し、最新の開発状況や業務・研究事例などを紹介いたします。また日本のユーザーの活用事例などの発表もごさいます。ユーザーカンファレンスでは、開発者との交流と共にユーザー同士の交流なども可能です。詳細はHPなどでご案内いたします。



# トレーニングコース内容

CITIES	<b>MIKE URBAN CS</b> 1次元下水道管渠水理モデル (MOUSE) の基本コース  リクエストに応じて随時	初めて1次元下水道管渠水理モデルを使用する方を対象とした基本的なコースです。  このコースでは、モデルの設定方法及び結果アプトプット方法についてなど、MIKE URBAN CSの基本構造について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>座標系や単位の設定などプロジェクトのセットアップ方法</li> <li>データ作成方法 (データ管理・インポート/エクスポートなど)</li> <li>数値データ・図の編集</li> <li>水理及び流出解析の方法</li> <li>結果の解析及び図化 (時系列・断面図など) など</li> </ul>
	<b>MIKE URBAN WD</b> 1次元上水道管渠水理モデル の基本コース  リクエストに応じて随時	初めて1次元上水道管渠水理モデルを使用する方を対象とした基本的なコースです。  このコースでは、モデルの設定方法及び結果アプトプット方法についてなど、MIKE URBAN CSの基本構造について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>座標系や単位の設定などプロジェクトのセットアップ方法</li> <li>データ作成方法 (データ管理・インポート/エクスポートなど)</li> <li>数値データ・図の編集</li> <li>水理・水質 (残留塩素など) 計算の方法</li> <li>結果の解析及び図化など</li> </ul>
FLOODING	<b>MIKE FLOOD (3-way)</b> 1-2次元統合内外水氾濫モデルの基本コース  Dates 6月29日 東京 7月7日 大阪 7月12日 福岡	1次元下水道管渠 (MIKE URBAN) ・1次元河川 (MIKE11) ・2次元地表面・沿岸 (MIKE21) 統合氾濫モデルの使用法に関するコースです。  このコースでは、3つのモデルの基本的なモデル構築方法・その統合方法・アニメーションの作成方法・氾濫マップの作成方法などを学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>MIKE FLOODの概要</li> <li>MIKE21/11/URBANの概要・モデル構築</li> <li>MIKE FLOODの概要・モデル構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>各モデルの設定</li> <li>計算方法及び結果の表示</li> <li>氾濫マップの作成方法</li> <li>結果の解析及び図化 (GIS・アニメーション・氾濫マップ・時系列) など</li> </ul> </li> </ul>
	<b>MIKE FLOOD (River)</b> 1-2次元統合河川氾濫モデルの基本コース  <b>MIKE FLOOD (Urban)</b> 1-2次元統合内水氾濫モデルの基本コース  リクエストに応じて随時	1次元 (MIKE11) ・2次元 (MIKE21) 統合河川氾濫モデル又は1次元 (MIKE URBAN) ・2次元 (MIKE21) 統合内水氾濫モデル使用方法・適応性に関するコースです。  このコースでは、モデルの構築方法・アニメーションの作成方法・氾濫マップの作成方法などを学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各モデルの概要</li> <li>標高データの作成方法</li> <li>構造物の取り扱い方法</li> <li>氾濫マップの作成方法</li> <li>結果の解析及び図化 (GIS・アニメーション・氾濫マップ・時系列) など</li> </ul>
WATER RESOURCES	<b>MIKE 11</b> 1次元不定流モデルの基礎コース  リクエストに応じて随時	1次元河川モデルの理論及び基礎的な使用方法に関するコースです。  このコースでは、支川や構造物がある河川や流出解析モデルとの結合などを学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次元河川モデルの基本設定方法</li> <li>構造物の設定</li> <li>キャリブレーション方法</li> <li>流出解析モデルの設定</li> <li>など</li> </ul>
	<b>MIKE SHE</b> 分布型統合水文モデルの基礎コース  リクエストに応じて随時	分布型統合水文モデル (蒸発散・地表面・河道・飽和層・不飽和層) の理論及び使用方法に関するコースです。  このコースには、基本的な水理・水文学の知識が必要になります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>開水路流れについて</li> <li>地表面・浸透流について</li> <li>飽和層・不飽和層流れについて</li> <li>他のモデルとの結合</li> <li>キャリブレーション方法</li> <li>水収支の算出</li> <li>など</li> </ul>
GROUNDWATER	<b>FEFLOW</b> 2次元及び3次元の地中熱水分解析モデルの基礎コース  Dates 10月9日～10月12日 東京	2次元及び3次元の地中熱水分解析モデルの使用方法及び理論に関する3日間 (基礎) と2日間 (上級) のコースです。  このコースには、基本的な水理・水文学の知識が必要になります	<ul style="list-style-type: none"> <li>FEFLOWの概要及びGUI (グラフィックユーザーインターフェイス)</li> <li>流動・物質輸送の概要</li> <li>GISデータを使用した2次元・3次元流動モデルの設定</li> <li>図化・アニメーション化</li> <li>など</li> </ul>
COAST & SEA	<b>MIKE 21 HD</b> 2次元流動モデルの基本コース  Dates 6月27日 東京 7月3日 大阪 7月10日 福岡	2次元流動モデル (津波・高潮などを含む) の基礎的な使用方法 (モデル設定・結果表示方法など) に関するコースです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次元・3次元流動モデルの概要</li> <li>座標系の定義及び水深データの作成 (デジタル化等)</li> <li>データ作成・編集</li> <li>必要データの設定</li> <li>キャリブレーション方法</li> <li>結果の表示 (時系列・平面図・3次元表示・アニメーション作成など) など</li> </ul>
	<b>MIKE 21 &amp; MIKE 3 ECO Lab</b> 2/3次元水質・生態系モデルの基本コース  Dates 6月28日 東京 7月4日 大阪 7月11日 福岡	水質・生態系モデルソルバーの基本的な概念及び使用方法に関するコースです。  このコースには、MIKE21/3の基本的知識が必要になります	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質・生態系モデルの概要</li> <li>ECOlabテンプレートの概要</li> <li>流動モデルとの結合方法</li> <li>結果の表示 (時系列・平面図・3次元表示・アニメーション作成など) など</li> </ul>



DHIは、DHIソフトウェアを使用させていただくことによりクライアントの業務研究生産性の向上に寄与できると考えています。さらにより効率的な業務遂行のためにトレーニングコースを受講していただく事が最良の方法であると考えています。

MIKEトレーニングコースは、全世界のDHIオフィスによって、その国の言語によって開催されています。

**参加者：**MIKEトレーニングコースの参加者は、国・地方自治体などの水関係行政者、国・地方自治体の研究所や大学の研究者・学生、建設コンサルタント・建設会社など民間技術者など多岐に渡ります。

**コース領域：**Urban（上下水道等）、marine（海洋・波浪・海岸等）、Water Resources（河川・地下水等）の分野に渡ります。クライアント様のニーズに合わせ様々な組み合わせが可能です。またクライアント様のオフィスでのトレーニングも可能です。詳細はお問い合わせください。

**短期スタンダードコース：**新規のクライアント様・購入のご検討をされているクライアント様・既に弊社ソフトウェアをご使用しているクライアント様などを対象とした、ソフトウェアの基本的な使用方法に関するトレーニングコースです。このコースでは、クライアント様がご購入ソフトウェアを実業務で使用可能なようにサポートいたします。

**テイラーメイドコース：**クライアント様のニーズ及び業務等に合わせた短期から長期のテイラーメイドコースです。このコースではクライアント様のデータを用いてDHIの担当領域の専門家がモデルの構築方法などをサポートいたします。

#### 開催場所

コースの開催場所は、各開催都市の中心部の会議場などで行います。決定次第HPなどでご連絡いたします。ご要望に応じて、クライアント様のオフィスでの開催も可能です。

#### 使用言語

使用言語は基本的に日本語です（一部特別コースは英語になります）。

#### 価格

各コースの参加費用はDHI Japanにお問い合わせください。  
[mikebydhi.jp@dhigroup.com](mailto:mikebydhi.jp@dhigroup.com)

#### コース開催人数

コース開催の最低人数は基本的に4人以上になります。詳細はDHI Japanにお問い合わせください。

[mikebydhi.jp@dhigroup.com](mailto:mikebydhi.jp@dhigroup.com)

#### 申し込み

コース開催の3週間前までにDHI Japanまでご連絡ください。参加人数が規定に満たない場合などは、再度日程を変更する場合があります。詳細はDHI Japanにお問い合わせください。  
[mikebydhi.jp@dhigroup.com](mailto:mikebydhi.jp@dhigroup.com)

## Further information

DHIのトレーニングコースは、全世界で開催されています。コーススケジュールに関しては以下のウェブサイトをご確認ください：

[www.mikebydhi.com/training/globalcoursecalendar](http://www.mikebydhi.com/training/globalcoursecalendar)

MIKEシリーズ及びトレーニングコースに関するより詳しい内容に関しては、DHI JAPANまでお問い合わせください：

DHI Japan, 担当：風間隆宏  
[mikebydhi.jp@dhigroup.com](mailto:mikebydhi.jp@dhigroup.com)  
Tel:045-317-4105

## DHI Japan

221-0822 神奈川県横浜市神奈川区  
東神奈川1-13-12 アーバンビル6F

Tel: 045 317 4105  
[software@dhisoftware.jp](mailto:software@dhisoftware.jp)

